





# 座り込み10周年 人間の鎖

## 代執行による工事強行 米兵少女誘拐暴行事件 弾劾

◇2024年7月、それを受け倍・善、自公政権と対キャン・シユワフにて沖繩自民党の翁長雄志那覇市長が、沖繩の議事座り込みから10年が経過しました。この10年間いろいろと変化があり「辺野古移設は最低でも県外、国外」を公約した鳩山民主党が「辺野古移設反対」を容認、推進と先祖がえりました。仲井真知事が「県内移設反対」から容認へ。自民党参国会議員5人の「公約」破り「辺野古の移設、建設容認」にな

りました。それを倍・善、自公政権と対キャン・シユワフにて沖繩自民党の翁長雄志那覇市長が、沖繩の議事座り込みから10年が経過しました。この10年間いろいろと変化があり「辺野古移設は最低でも県外、国外」を公約した鳩山民主党が「辺野古移設反対」を容認、推進と先祖がえりました。仲井真知事が「県内移設反対」から容認へ。自民党参国会議員5人の「公約」破り「辺野古の移設、建設容認」にな



7月6日、毎月恒例の辺野古ブルーアークシヨンの新宿スタンディング呼びかけ。沖繩民が参加した(写真)。人は米軍人による性犯罪が沖繩県に対して隠蔽されていたのか「米側に付度したのか」政府権力に対してか、はたまた県議選への影響を恐れたためか」と17日の「許すな！代官執行による大浦湾の埋

域の「島ぐるみ会議」と県内外の仲間達と共に「辺野古新基地建設の工事設計変更」を不承認した玉城知事の権限を岸田政権が奪い、2024年1月から「代執行」を発動し現在に至っている。しかし、政府発表でも「辺野古新基地完成まであと12年」かかると言われています。これが普天間基地の一日も早い危険性の除去とは辺野古移設が唯一の解決方法「の身身身」。

20才で命を奪われた名護市生まれの島袋理奈さんに言及し、今もなおならない米兵による女性に対する暴行事件に対して怒り、抗議しました。この二つの事件がメディアの報道で明らかになったのが、それぞれ6月25日と6月28日だった。すなわち、6月16日の沖繩県議会議員選挙後に発覚したということであり、それまで日本政府と当局者は公表しなかったということだ。つまり、この米兵による性暴力事件が明らかになることによって住民の怒りが爆発し、県議選で玉城県政の与党に有利となることを恐れた、日本政府は隠蔽を図ったと言っても決して過言ではない。政局的にはそれが核多くなった。もはや「再発防止策」や「綱紀粛正」のレベルの問題ではなく、基地撤去「米軍撤退」以外に根本的な全面的な解決の道がないことは明らかだ。心

### 辺野古ブルー新宿スタンディング

7月6日

一坪反戦地主会関東支部の辺野古ブルーアークシヨンの新宿スタンディング呼びかけ。沖繩民が参加した(写真)。

め立て受注セネコンへの抗議「白アクション」(「辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会」の共催で、朝9時に品川の大森組から始まって夕方まで都心部のセネコン等に抗議)と、8月10日の「沖繩は怒っているぞヤマトだっけ怒りなき

る。1995年の少女暴行事件では8万人の市民が抗議県民大会に決起し、2016年にはうるま市の女性が元海兵隊員に暴行、もうひとつの重大事件は辺野古新基地建設に使用した土砂の運搬作業に従事するダンブカーが安和橋付近で抗議中の女性と警備員の男性をひき、男性が死亡し、女性が重傷を負った事故である。これは沖繩防衛局による辺野古新基地建設工事の加速化によって起こった事件数は少なくとも134件(検挙者数157人)あった。米軍側はその都度「再発防止策の実施」や「綱紀粛正」を言うが、23年は米軍関係者による刑事犯の検挙件数が前年より18件多い72件となり、過去20年で最も多くなった。もはや「再発防止策」や「綱紀粛正」のレベルの問題ではなく、基地撤去「米軍撤退」以外に根本的な全面的な解決の道がないことは明らかだ。心



7月6日 人間の鎖

「勝つことは諦めない」とを貫きます。

佳彦

# パレスチナ問題の歴史的起源

## 板垣雄三さんが講演

6・23 京都

6月23日、「パレスチナ問題と欧米近・現代」パレスチナ問題の歴史の起源」というテーマで、板垣雄三さん(東京大学名誉教授)が京都市内で講演した。集会は、ヘルネサンス研究所・関西研究会)と(反戦・反貧困・反差別共同行動)が主催。板垣さんの提起は重要な内容を含んでいる。以下に講演要旨を紹介する。

板垣さんの提起は重要な内容を含んでいる。以下に講演要旨を紹介する。

**板垣雄三さん**  
講演

昨年10月7日に「パレスチナ人の決起」が起きてから、もうすぐ9カ月がたとうとしていいる。現在、ガザを中心に危機的状況が進行している。この間、頭着になったこと



各地で抗議行動

こかへ吹き飛んでしまっている。紛争や戦争の問題にすり替えられていく。こうして、新しい植民地主義がうまれてきた。1920年に、サンレモ会議がおこなわれた。これはオスマン帝国に関する領土分割会議だ。ここで日本は、援助の役割をはたした。当時は、ドイツは太平洋の島々に権益を持っていた。日本はこの権益を譲ってもらうために、イギリスを応援した。こうして、天皇家はイギリス王室と親密な関係をむすんだ。この関係は現在も継続している。パレスチナ人の抵抗権を認めない。市民がパレスチナ人を支援すれば、これを「反ユダヤ主義」と非難して、「テロが問題」にすり替えている。

パレスチナ人の抵抗権がしっかり押さえられていないのだ。いったいどこに問題があるのか。20世紀の歴史を振り返って、第一次世界大戦後、オスマン帝国の支配下にあったパレスチナは、イギリスとフランスによって分割されていく。こうして、新しい植民地主義がうまれてきた。1920年に、サンレモ会議がおこなわれた。これはオスマン帝国に関する領土分割会議だ。ここで日本は、援助の役割をはたした。当時は、ドイツは太平洋の島々に権益を持っていた。日本はこの権益を譲ってもらうために、イギリスを応援した。こうして、天皇家はイギリス王室と親密な関係をむすんだ。この関係は現在も継続している。パレスチナ人の抵抗権を認めない。市民がパレスチナ人を支援すれば、これを「反ユダヤ主義」と非難して、「テロが問題」にすり替えている。

パレスチナ人の抵抗権がしっかり押さえられていないのだ。いったいどこに問題があるのか。20世紀の歴史を振り返って、第一次世界大戦後、オスマン帝国の支配下にあったパレスチナは、イギリスとフランスによって分割されていく。こうして、新しい植民地主義がうまれてきた。1920年に、サンレモ会議がおこなわれた。これはオスマン帝国に関する領土分割会議だ。ここで日本は、援助の役割をはたした。当時は、ドイツは太平洋の島々に権益を持っていた。日本はこの権益を譲ってもらうために、イギリスを応援した。こうして、天皇家はイギリス王室と親密な関係をむすんだ。この関係は現在も継続している。パレスチナ人の抵抗権を認めない。市民がパレスチナ人を支援すれば、これを「反ユダヤ主義」と非難して、「テロが問題」にすり替えている。

パレスチナ人の抵抗権がしっかり押さえられていないのだ。いったいどこに問題があるのか。20世紀の歴史を振り返って、第一次世界大戦後、オスマン帝国の支配下にあったパレスチナは、イギリスとフランスによって分割されていく。こうして、新しい植民地主義がうまれてきた。1920年に、サンレモ会議がおこなわれた。これはオスマン帝国に関する領土分割会議だ。ここで日本は、援助の役割をはたした。当時は、ドイツは太平洋の島々に権益を持っていた。日本はこの権益を譲ってもらうために、イギリスを応援した。こうして、天皇家はイギリス王室と親密な関係をむすんだ。この関係は現在も継続している。パレスチナ人の抵抗権を認めない。市民がパレスチナ人を支援すれば、これを「反ユダヤ主義」と非難して、「テロが問題」にすり替えている。

このように考えた(ヘルトルなど)。これがユダヤ人のナショナリズム運動として展開されていく。ロシア革命のなかで、シオニストたちは、近代思想はヨーロッパで生まれたのではなく、アジアからヨーロッパに移植された、ヨーロッパで確立された。アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどで、近代の根

このように考えた(ヘルトルなど)。これがユダヤ人のナショナリズム運動として展開されていく。ロシア革命のなかで、シオニストたちは、近代思想はヨーロッパで生まれたのではなく、アジアからヨーロッパに移植された、ヨーロッパで確立された。アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどで、近代の根

このように考えた(ヘルトルなど)。これがユダヤ人のナショナリズム運動として展開されていく。ロシア革命のなかで、シオニストたちは、近代思想はヨーロッパで生まれたのではなく、アジアからヨーロッパに移植された、ヨーロッパで確立された。アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどで、近代の根

このように考えた(ヘルトルなど)。これがユダヤ人のナショナリズム運動として展開されていく。ロシア革命のなかで、シオニストたちは、近代思想はヨーロッパで生まれたのではなく、アジアからヨーロッパに移植された、ヨーロッパで確立された。アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどで、近代の根

(5面へ続く)







